

熊本家庭裁判所委員会（第27回）議事概要

第1 開催日時等

- 1 日 時 平成28年5月27日（金）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場 所 熊本家庭裁判所第1会議室
- 3 出席者
(委員) 伊藤典昭, 今吉光弘, 岩下新一郎, 岡部 勉, 杉水沙奈映,
田口貴一朗, 武野康代, 播磨俊和, 藤木美才（五十音順）
(事務局等) 事務局長, 首席家庭裁判所調査官, 首席書記官, 事務局次長,
次席家庭裁判所調査官, 総務課長, 総務課課長補佐, 主任書記官,
家庭裁判所調査官, 総務課文書係長

4 意見交換テーマ

家庭裁判所調査官について

第2 議事概要

【発言者の略記 ◎：委員長，○：委員，◇：事務局等】

- 1 開 会
- 2 新任委員の挨拶
- 3 前回の委員会における積み残し案件（後見事務）の説明
- 4 議事

(1) 家庭裁判所調査官の職務，役割等

（リーフレット「家庭裁判所調査官—家族・人・社会の架け橋—」，パワーポイント「少年事件の調査の実際について」，「家事事件における調査の実際について」を使用した説明）

(2) 家庭裁判所調査官の養成課程研修等

（リーフレット「家庭裁判所調査官—家族・人・社会の架け橋—」を使用した説明）

(3) 家庭裁判所調査官に関する広報活動等

(パンフレット「平成28年度 裁判所採用案内」、資料「裁判所職員採用試験 平成27年度試験から試験制度が変わります!!」等を使用している説明)

◎ 家庭裁判所調査官は、家庭裁判所のみ職種であるが、知名度について意見を伺いたい。

○ 以前、教員をしていて、卒業生に家庭裁判所調査官になった者がいるため、家庭裁判所調査官のことは知っている。

家庭裁判所調査官を志望する人は、大学でどのようなことを学んでいるのか。

◇ 必ずしも法律学を専攻しているわけではなく、心理学などの行動科学を専攻して、家庭裁判所調査官になる人が多い。

○ 今の若い人たちに興味をもってもらうため、家庭裁判所調査官がどのような仕事をしているか、映像を使って公開し、皆に知ってもらうという方法もインパクトがあって良いのではないか。

○ 当方の学生に家庭裁判所調査官の試験を受けた者がいる。大学側から家庭裁判所調査官の試験について周知はしている。

◎ 最近、家庭裁判所調査官を題材にしたテレビ番組があったが、知名度を上げるきっかけにならないか。

○ 家庭裁判所調査官のことはほとんど知らない。今日話を聞いて大変な仕事だと思った。大変な仕事のため、ストレスが溜まって、退職したりすることはないのか。

◇ 大変という面はあるが、やりがいもあると思う。実感としては職務内容のストレスが原因で退職する人は少ないと思う。

○ 給料に見合った仕事なのか。今の若い人たちはそれを基準にしている。

◇ 家庭裁判所調査官の仕事は大変ではあるが、職務内容を理解して家庭裁判所調査官になっている人が多く、やりがいのある仕事だと思う。また、同期との繋がりがあり、風通しの良い職場でもあるため、そこがアピールポイントにもなる。

- ◇ 家庭裁判所調査官以外でも窓口で、初めて会う来庁者との対応でメンタルになる職員がいるように思われる。メンタルの問題に関して、職種間の差はないという実感である。
- 就職する際、地元を離れてもいいと思う人と離れたくないと思う人がいるが、当方の学生は、地元志向が強く、同じ公務員でも国家公務員よりも地方公務員の志望が多いようである。
- 家庭裁判所調査官の役割は大きいと思う。知名度が低いのは残念である。
- 家庭裁判所調査官の職務は非行を犯した人をいかに更生させるかであり、検察官の職務は犯人を特定することである。車の両輪のような関係であると思う。
- 司法書士の立場から言うと、司法書士の職務内容を理解していない人は多く、家庭裁判所調査官も共通の悩みがあると感じた。
司法書士もどのような広報活動が望ましいのか、考えている。
- ◎ 家庭裁判所調査官の仕事に求めるものは何か。
- 社会福祉の専門性を取り入れられないか。そして専門性を活かせる場所があればよいと思う。
- ◇ 社会福祉を専攻して家庭裁判所調査官になった者もいる。
また、養成研修では社会福祉学を学習させている。

5 次回のテーマ

「少年事件における当庁の教育的措置の実情」をテーマとすることで、委員全員が合意した。

6 次回期日

平成28年10月28日（金）午後1時30分

7 閉会